

一日公開実施レポート

テーマ：「見る、さわる、わかる地球掘削科学の世界」

開催日：平成 25 年 11 月 3 日（日）

主催：高知大学 物部キャンパス

来訪者：約 1,200 名

概要：高知大学物部キャンパスの一日公開にあわせて、当センターも施設・設備の公開および研究内容の紹介を行った。センターの一般公開は、海洋研究開発機構高知コア研究所との緊密な連携のもと共同で行い、様々な体験イベントやセンター内一周クイズを行う等、ただ施設を見学するだけでなく、センターで行われている研究内容をより身近に感じてもらえるような趣向を凝らした。また、高知発上陸となる小惑星探査機「はやぶさ」1/2 模型を展示（協力：JAXA 宇宙航空研究開発機構）し、地球深部探査船「ちきゅう」との特別展示を行った。



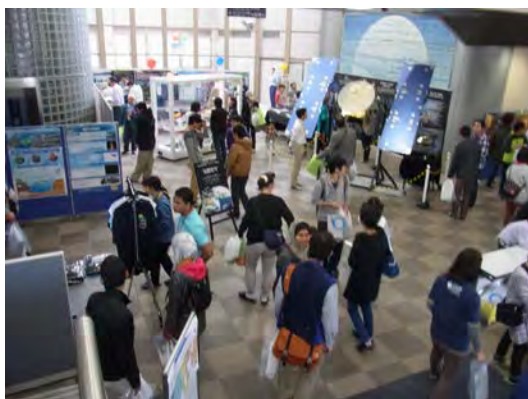
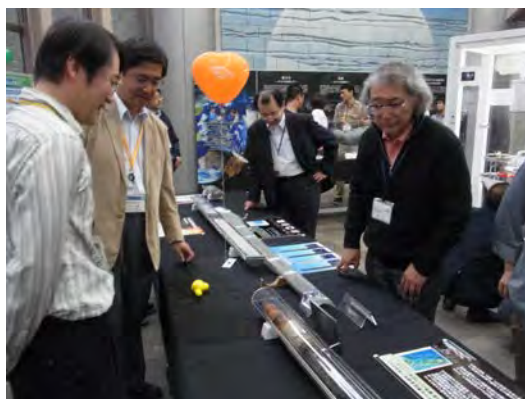
内容：

【エントランス】

高知コアセンターの紹介

小惑星探査機「はやぶさ 1/2」「カプセル 1/1」「イトカワ 1/1000」と地球深部探査船「ちきゅう 1/100」の模型特別展示を行った。

高知コアセンターの紹介ポスターや IODP 掘削コアの実物およびレプリカの展示を行った。昨年好評だった海洋研究開発機構特製の T シャツや文房具などのオリジナルグッズ、書籍の販売を行った。





微生物を見てみよう

海の底に住んでいる微生物を泥の中から見つける手法を用いて、蛍光によって DNA を光らせた状態を肉眼や顕微鏡下で観察やその場で息を化学分析することを通して、微生物の研究について紹介を行った。

【コアロギング室】

非破壊計測の世界

X 線 CT スキャナなど非破壊によるコア計測法の紹介を海洋コアや微化石などの測定結果の説明を交えて行った。

また、海底生物などの CT 画像を 3D で表示し、マウスを使って全方向から観察できるコーナーを設けた。



ふしぎな岩石に触ってみよう

高知県内、四国各地、九州などで採取された岩石を展示し、四国の地質帯を構成する代表的な岩石の種類や産地などを説明した上で触ってもらい手触りや重さの違いなどを体感してもらった。

【サンプリング室】

海底の資源って、なんだろう

海底資源のうちレアメタルを多く含有しているサンプルとして海底から採取したマンガンクラスやチムニーを展示した。

また、今後有用と考えられている海底資源のメタンハイドレートを展示し、「燃える氷」の実演を行った。





砂粒・微化石の世界を覗いてみよう

世界各地で採取された砂粒やそこに含まれている微化石を実体顕微鏡で観察してもらった。

物部川の砂を使ったデルタ地形の再現実験や寒天を利用して作った海底を用いたコア抜き体験を行った。

水深 1,000m の世界を体験してみよう

水深 1,000m に相当する水圧をかけることができる装置を利用して、水圧で発泡スチロールカップを潰す体験をしてもらった。圧力をかけるにつれて、徐々にカップが潰れていく過程を見てもらうことで、深海での圧力を視覚的に体感してもらった。



【写真集】



来場者アンケート結果

